

シーレックスグループは、“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務とし、環境と調和した循環型社会を目指し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。



環境保護体制の推進

シーレックスは、1999年に環境マネジメントシステム（ISO14001：EMS）の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。グループ会社を含めた10事業所でCO2の削減や産業廃棄

物の削減、使用禁止化学物質の管理など、環境に影響を及ぼす側面の改善に取り組んでいます。また、これまでに比べゴミが少ないラベルや地球環境にやさしい材料を使用したラベルなどの環境配慮型製品の販売、さらに、

印刷工程で揮発性有機溶剤を使用せず、CO2の排出量を削減できる水性フレキソ印刷などの技術開発を推進しています。

シーレックス環境方針

○ 基本理念

シーレックスは『“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代に引き継ぐことは私たちの責務』とし、生物多様性の保存と持続可能な循環社会を目指し、調達から消費に至る事業活動の面で環境保護に配慮し行動します。

○ 基本方針

環境目標の設定：当社事業であるシール・ラベルの設計・開発・製造・サービスの全ての活動領域における環境目標を設定し、環境負荷低減活動を実施することで、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

環境関連法規制等の遵守：環境に関連する全ての法令・規制および協定を遵守し、環境保護に取り組み、環境マネジメントの継続的維持・改善を図ります。

環境負荷の低減、持続可能な資源の有効利用：省エネルギー、省資源、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努め、環境負荷の低減を図ります。

汚染の防止製品化学物質の適切な管理：環境汚染の防止に取り組み、製品含有化学物質の適切な管理を実践し、人々や環境の保護を図ります。

環境コミュニケーション：社内の環境教育・外部への啓蒙活動を推進し、社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に積極的に貢献します。

自然の恵みの保全と生物多様性の保護：自然の恵み（水・海・森林など）に感謝し、適切に保全管理を行い、生物多様性保護が企業活動を行っていく上で、重要課題のひとつと捉え、すべての事業活動において生物多様性への影響を配慮して、活動します。

改訂日：2021年7月1日

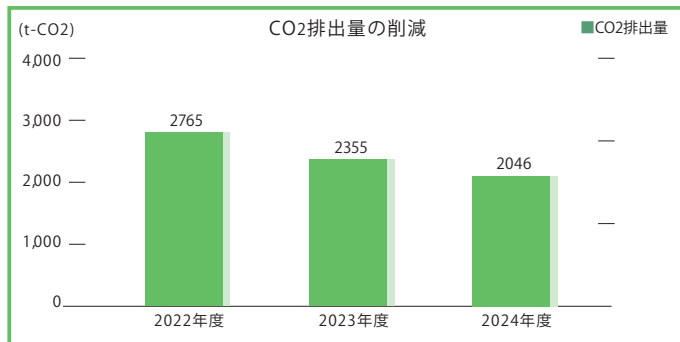
環境ビジョン2024年度評価

シーレックスは、環境理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準：

S：目標を十分に達成した A：目標を達成した B：目標が達成できなかった C：目標を大きく下回った

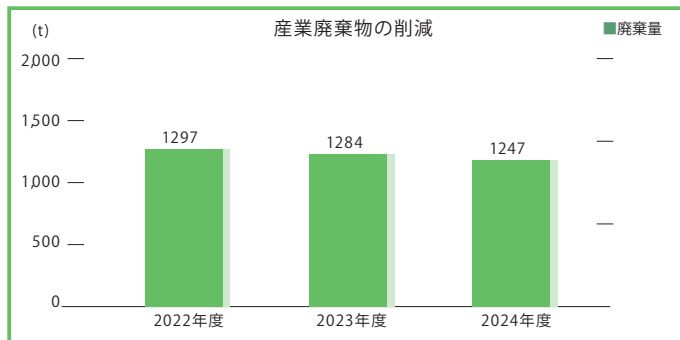
| 方針 | 目標 | 評価 |
|------------|--------------------------------------|----|
| 法規制の遵守 | 水質検査を定期的に行い、水質基準を守る | A |
| | 騒音・振動測定を定期的に行い、基準を守る | A |
| | 産業廃棄物の管理を継続的に行う | A |
| | 材料および副資材の購入において使用禁止化学物質の含有調査管理を行う | A |
| CO2の削減 | 電気消費量の削減、ガソリン消費量の削減に取り組み、CO2の削減につなげる | A |
| 産業廃棄物の削減 | 産業廃棄物の排出量の削減を図る | A |
| リサイクル化の推進 | リサイクル率 98%以上を維持する | A |
| 省資源の推進 | 材料在庫の削減、在庫品の削減、再加工の削減 | A |
| 環境配慮型製品の開発 | 環境配慮型製品を一定目標金額以上販売し、環境に配慮した開発品に取り組む | A |
| グリーン購入の推進 | 事務用品などの購入品はグリーン購入ガイドラインに準じて行う | A |



CO2の削減

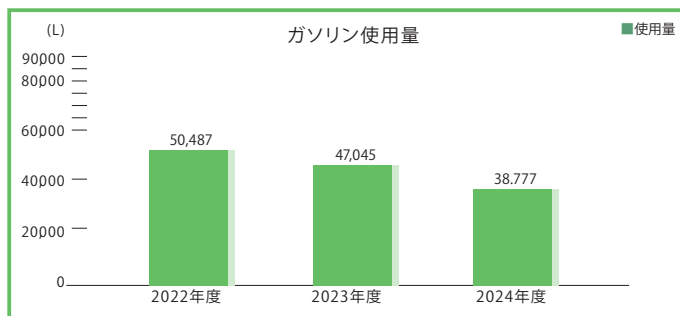
シーレックスでは節電やガソリン消費量の削減を通じて、CO2の削減に取り組んでいます。

2024年度はガソリン使用量の減少や、社内啓発による節電活動により、CO2の排出量を抑えることができました。



産業廃棄物の削減

2024年度の排出量も、ほぼ横ばいとなりました。シーレックスではルールに基づき廃棄物を分別することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいます。分別された廃棄物は、サーマルリサイクル（固形燃料化）や再資源化が図られ、99%に近いリサイクル率を維持しています。リデュース・リユース・リサイクルの環境保全活動に取り組んでいます。



ガソリン使用量

シーレックスでは社有車の更新にあたり、ECO CAR（ハイブリッド車など）への転換を進め、少しずつガソリン使用量の削減につながっています。2024年度は社有車の台数と移動距離の減少に伴い、ガソリン使用量が減少しました。

水質検査の実施 定期的に水質検査を実施し、水質の汚濁管理をしています。

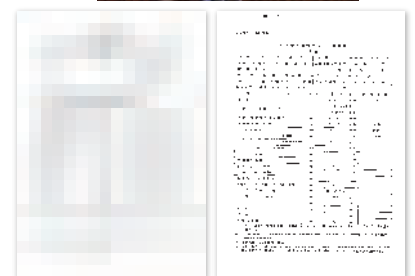
2024年度水質検査結果

<兵庫工場>

| 計量項目 | 単位 | 基準 | 結果 |
|------------------|-------|---------|--------|
| 水素イオン濃度 (PH) | - | 5.8~8.6 | 7.3 |
| 浮遊物質 (SS) | mg/L | 130 | 33 |
| 化学的酸素消費量 (COD) | mg/L | 100 | 7.7 |
| 生物化学的酸素消費量 (BOD) | mg/L | 100 | 12 |
| 全リン | mg/L | 16 | 0.06 |
| 大腸菌数 | 個/cm3 | 3,000 | 0 |
| 全窒素 | mg/L | 120 | 1.3 |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量 | mg/L | 15 | 0.5未満 |
| クロム | mg/L | 0.35 | 0.02未満 |
| フッ素化合物 | mg/L | 15 | 0.12 |

<東北工場>

| 計量項目 | 単位 | 基準 | 結果 |
|------------------|------|---------|-------|
| 水素イオン濃度 (PH) | - | 5.7~8.7 | 6.8 |
| 浮遊物質 (SS) | mg/L | 300 | 9 |
| 生物化学的酸素消費量 (BOD) | mg/L | 100 | 13 |
| ヨウ素消費量 | mg/L | 220 | 1未満 |
| 銅含有量 | mg/L | 3 | 0.1未満 |
| 亜鉛含有量 | mg/L | 5 | 0.1未満 |
| 溶解性鉄含有量 | mg/L | 10 | 0.1未満 |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量 | mg/L | 5 | 0.9 |
| 溶解性マンガン含有量 | mg/L | 10 | 0.1未満 |



● 水質管理報告書